

仲間との絆が
日本一への原動力



1 表彰式後のKBスラッガー（前列右から3番目が斉藤さん） 2 試合の様子 3 表彰式の様子 4 KBスラッガー全メンバー

KBスラッガー
監督 斉藤 晋弘さん

プロフィール

チーム名は「キング オフ ベースボール」の頭文字。昨年の「第25回全日本選抜選抜軟式野球大会」において初出場で初優勝を成し遂げ、今年も快進撃が期待されている。

3 回戦の相手は、昨年優勝の強豪チームでした。この対戦を一番と捉え、「ここで勝つことができれば優勝も夢ではない」と思い、チーム一丸となって挑んだ」と振り返る斉藤さん。最終日に行われた決勝戦では、一進一退の攻防が続きましたが、ここまで来て負けるわけにはいかないと奮起し、最終的には7対3という得点差で優勝を果たしました。「やるからには優勝したかったので、とにかくほっとした」と当時の心境を語り

昨年10月に開催された「第25回全日本選抜選抜軟式野球大会」で見事、栃木県勢として初となる優勝を果たしたKBスラッガー。監督兼選手の斉藤晋弘さんを筆頭に、本市在住のメンバーを中心に結成された、平均年齢65歳の野球チームです。
地区予選を勝ち上がり、全国大会は4日間で6試合という過密スケジュールを勝ち抜いて、初出場にして初優勝の快挙を成し遂げました。斉藤さんは「大会中にメンバーと寝食を共にしたことで、すっかりコミュニケーションが取れた。おかげで一戦ごとにチームの雰囲気は良くなり、優勝へつながることができた」と語ります。

静かなる闘志が燃えています。

「年を重ねるにつれ、体のキレが悪くなり、けがもしやすくなつた。ジムに通ったり素振りをしたりするなど、それぞれが鍛錬を重ね、一日でも長くみんなと野球をしたいと日々奮闘している」と少年のような笑顔を輝かせます。また、これまで野球に携わってきた人生を「野球を続けることで培った仲間との絆はかけがえないもので、人生を豊かにしてくれている」と振り返り、「若い人たちには、どんなことでも継続すること、それを楽しむこと、とにかく夢中になれるものを見つけて、豊かな人生を送ってほしい」とエールを送ります。
王者として臨む今シーズン。目指すのは「連覇」ではなく、「目の前の一戦一戦を着実に戦うこと」と語る斉藤さん。その瞳には、